

日本介護医療院協会「2024年度調査」全体集計まとめ

実施：令和6（2024）年6月

対象：介護医療院 770 施設（会員 319 施設および非会員 451 施設）

回答：174 施設（会員 140 施設、非会員 34 施設）

回答率：22.6%（療養床数計 13,192 床）

1. 概要

(1) 療養床総数

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	174	128	44	2
療養床総数（床）	13,192	10,494	2,541	157
最大（床）	320	320	120	104
最小（床）	4	12	4	53
平均（床）	75.8	82.0	57.8	78.5

(2) 入所者数と稼働率 ※2024年7月1日24時現在の入所者数÷療養床総数×100

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	170	125	43	2
入所者数（人）	11,979	9,604	2,233	142
療養床数（床）	12,877	10,251	2,469	157
稼働率（%）	93.0	93.7	90.4	90.4

(3) 開設場所（n=172 施設）

（施設数）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	172	127	43	2
1. 病院建物内併設	133	110	22	1
2. 病院敷地内併設	20	11	8	1
3. 独立	14	5	9	0
4. その他	5	1	4	0

比率（%）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	172	127	43	2
1. 病院建物内併設	77.3	86.6	51.2	50.0
2. 病院敷地内併設	11.6	8.7	18.6	50.0
3. 独立	8.1	3.9	20.9	0.0
4. その他	2.9	0.8	9.3	0.0

## (4) 介護医療院の療養床について、移行する前の施設種別（n=173 施設）

(病床数)

	全体	I 型	II 型	混合型
回答病床数	13,259	10,542	2,613	104
1. 介護療養病床	9,061	8,504	503	54
2. 介護療養診療所	16	16	0	0
3. 医療療養病棟 1	1,051	777	274	0
4. 医療療養病棟 2	722	437	285	0
5. 医療療養病棟 経過措置	118	74	44	0
6. 医療療養診療所	0	0	0	0
7. 老人性認知症疾患	50	0	0	50
8. 介護療養型老人保健施設	964	216	748	0
9. 一般病床から（介護・医療療養病床以外の病床から）	102	56	46	0
10. その他のベッドから（従来型老人保健施設等から）	613	40	573	0
11. 新設（新規開設）	63	63	0	0
12. 上記以外	499	359	140	0

比率（%）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答病床数	13,259	10,542	2,613	104
1. 介護療養病床	68.3	80.7	19.2	51.9
2. 介護療養診療所	0.1	0.2	0.0	0.0
3. 医療療養病棟 1	7.9	7.4	10.5	0.0
4. 医療療養病棟 2	5.4	4.1	10.9	0.0
5. 医療療養病棟 経過措置	0.9	0.7	1.7	0.0
6. 医療療養診療所	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 老人性認知症疾患	0.4	0.0	0.0	48.1
8. 介護療養型老人保健施設	7.3	2.0	28.6	0.0
9. 一般病床から（介護・医療療養病床以外の病床から）	0.8	0.5	1.8	0.0
10. その他のベッドから（従来型老人保健施設等から）	4.6	0.4	21.9	0.0
11. 新設（新規開設）	0.5	0.6	0.0	0.0
12. 上記以外	3.8	3.4	5.4	0.0

2. 新入所者数と入所経路（2024年4月～6月までの3か月間）（n=170施設）

※回復期リハ、地域包括ケア、急性期等（加算含む）の「在宅復帰率」が要件化されている病棟は、「在宅復帰系病棟」としてまとめている。（※「在宅復帰機能強化加算」を算定している療養病棟は含めない）

（新入所者数）

	全体	I型	II型	混合型
2024年4月から6月までの3か月間における新入所者総数	2,783	2,105	629	49
1. 自宅から	106	80	23	3
2. 自宅系高齢者施設（有料老人ホーム・特養等）から	101	66	20	15
3. 老人保健施設から	145	44	99	2
4. 自院の在宅復帰系病棟から	656	523	129	4
5. 自院の上記以外の病棟から	606	445	151	10
6. 他院の在宅復帰系の病棟から	483	389	94	0
7. 他院の上記以外の病棟から	576	454	107	15
8. その他	110	104	6	0

比率（％）

	全体	I型	II型	混合型
2024年4月から6月までの3か月間における新入所者総数	2,783	2,105	629	49
1. 自宅から	3.8	3.8	3.7	6.1
2. 自宅系高齢者施設（有料老人ホーム・特養等）から	3.6	3.1	3.2	30.6
3. 老人保健施設から	5.2	2.1	15.7	4.1
4. 自院の在宅復帰系病棟から	23.6	24.8	20.5	8.2
5. 自院の上記以外の病棟から	21.8	21.1	24.0	20.4
6. 他院の在宅復帰系の病棟から	17.4	18.5	14.9	0.0
7. 他院の上記以外の病棟から	20.7	21.6	17.0	30.6
8. その他	4.0	4.9	1.0	0.0

3. 退所者数と退所先（2024年4月～6月までの3か月間）（n=169施設）

※回復期リハ、地域包括ケア、急性期の病棟は、「在宅復帰系」としてまとめている。

（退所者数）

	全体	I型	II型				混合型
				病院建物内併設 病院敷地内併設	独立	その他	
2024年4月から6月までの 3か月間における退所者総数	2,471	1,907	515	338	128	49	49
1. 自宅へ	96	73	21	12	7	2	2
2. 自宅系高齢者施設（有料老人ホーム・特養等）へ	178	137	37	26	7	4	4
3. 老人保健施設へ	101	74	27	25	1	1	0
4. 自院の在宅復帰系病棟へ	88	63	25	16	9	0	0
5. 自院の上記以外の病棟へ	287	194	83	45	35	3	10
6. 他院の在宅復帰系病棟へ	61	44	17	6	11	0	0
7. 他院の上記以外の病棟へ	179	113	57	23	24	10	9
8. 死亡退所	1,460	1,194	242	179	34	29	24
9. その他	21	15	6	6	0	0	0

比率（％）

	全体	I型	II型				混合型
				病院建物内併設 病院敷地内併設	独立	その他	
2024年4月から6月までの 3か月間における退所者総数	2,471	1,907	515	338	128	49	49
1. 自宅へ	3.9	3.8	4.1	3.6	5.5	4.1	4.1
2. 自宅系高齢者施設（有料老人ホーム・特養等）へ	7.2	7.2	7.2	7.7	5.5	8.2	8.2
3. 老人保健施設へ	4.1	3.9	5.2	7.4	0.8	2.0	0.0
4. 自院の在宅復帰系病棟へ	3.6	3.3	4.9	4.7	7.0	0.0	0.0
5. 自院の上記以外の病棟へ	11.6	10.2	16.1	13.3	27.3	6.1	20.4
6. 他院の在宅復帰系病棟へ	2.5	2.3	3.3	1.8	8.6	0.0	0.0
7. 他院の上記以外の病棟へ	7.2	5.9	11.1	6.8	18.8	20.4	18.4
8. 死亡退所	59.1	62.6	47.0	53.0	26.6	59.2	49.0
9. その他	0.8	0.8	1.2	1.8	0.0	0.0	0.0

4. ターミナルケアカンファレンス（意思確認カンファレンス（仮称））について  
 （2024年4月～6月までの3か月間）（n=174施設）

(1) ターミナルケアに係る計画を作成するための入所者・家族等の同意を得るための  
 「介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス」の開催

	全体	I型	II型	混合型
回答施設数	174	128	44	2
開催施設数	136	105	29	2
実施した入所者数	3,091	2,646	423	22
開催延べ回数	3,734	3,191	521	22

※「介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス」には、本人の参加、不参加どちらも含む。本人の意思がはっきりしない場合は、家族、書面（事前指示書）、職員、代理人（家族以外の第三者）で意思を想定したものをカウントする。

(2) 上記(1)の「介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス」の開催のうち、本人が参加し、意思を表明した「本来のACP・人生会議」カンファレンスの開催回数

	施設数	開催延べ回数	
(1) 介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス	136	3,734	
(1)のうち、本人が参加し、意思を表明したカンファレンス(ACP)	31	116	3.1%

(3) 上記(1)の「介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス」を実施した入所者数のうち、介護医療院入所前にACPを実施していた入所者数、介護医療院入所前に事前指示書等を持参していた入所者数

	施設数	実施した入所者数	
(1) 介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス	136	3,091	
(1)のうち、介護医療院入所前にACPを実施していた入所者数	36	447	14.5%
(1)のうち、介護医療院入所前に事前指示書等を持参していた入所者数	27	265	8.6%

5. 入所者の要介護度について（2024年7月1日現在の状態）（n=174施設）

（施設数）

	全体	I型	II型	混合型
回答入所者数	12,116	9,676	2,298	142
要介護5	5,391	4,449	903	39
要介護4	4,753	3,880	824	49
要介護3	1,237	877	324	36
要介護2	424	253	157	14
要介護1	217	137	76	4
申請・区分変更等、未確定	94	80	14	0

比率（％）

	全体	I型	II型	混合型
回答入所者数	12,116	9,676	2,298	142
要介護5	44.5	46.0	39.3	27.5
要介護4	39.2	40.1	35.9	34.5
要介護3	10.2	9.1	14.1	25.4
要介護2	3.5	2.6	6.8	9.9
要介護1	1.8	1.4	3.3	2.8
申請・区分変更等、未確定	0.8	0.8	0.6	0.0

\* 平均要介護度

	全体	I型	II型	混合型
平均要介護度	4.22	4.28	4.02	3.74

6. 2024年5月の介護保険算定単価（1人/日）（n=152施設）

※月の入所に関する介護保険収入を入所者延べ数で除した金額

	全体	I型	II型
回答施設数	152	116	36
介護保険算定単価 平均（1人/日）	14,521	14,880	13,365

7. LIFE の活用が要件として含まれる加算の算定状況について（2024年5月）（n=174施設）

	算定 施設数	回答施設 に占める 比率（%）	算定施設における 件数（平均） （100床換算）	算定施設における 延べ回数（平均） （100床換算）
1-1. 科学的介護推進体制加算Ⅰ	42	24.1	96	285
1-2. 科学的介護推進体制加算Ⅱ	81	46.6	96	126
2. 理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	101	58.0	88	230
3. 褥瘡対策指導管理Ⅱ （ⅠはLIFE提出不要）	79	45.4	90	237
4-1. 排泄支援加算Ⅰ	55	31.6	90	90
4-2. 排泄支援加算Ⅱ	15	8.6	7	7
4-3. 排泄支援加算Ⅲ	7	4.0	3	3
5. 自立支援促進加算	27	15.5	94	94
6. 薬剤管理指導	28	16.1	39	88
7. 栄養マネジメント強化加算	82	47.1	127	2,665
8. 口腔衛生管理加算Ⅱ	60	34.5	72	88

8. 「自立支援促進に関する評価・支援計画書」における「尊厳の保持に資する取り組み」の実施状況について  
「尊厳の保持に資する取り組み」の実施状況 5段階評価

(施設数)

	回答 施設数	5. よく でき ている	4. でき ている	3. 普通	2. あま りでき ていな い	1. でき ていな い	平均点
1. 身体拘束ゼロへの取り組み	173	72	71	22	8	0	4.2
2. 手荒い介護をしない	173	51	90	30	2	0	4.1
3. 生理現象を放置・我慢させない	172	32	80	55	5	0	3.8
4. 子ども扱いしない	172	28	93	50	1	0	3.9
5. いじわるしない	172	65	84	23	0	0	4.2
6. プライバシーの保護	173	38	85	47	2	1	3.9
7. 選挙権の行使	173	63	47	41	8	14	3.8
8. お金の管理	164	39	36	52	7	30	3.3
9. 人生の最期の医療・ケアに本人が参加し、本人の意思を確認している (ACP)	171	10	22	45	60	34	2.5
10. 本人が意思を表出できないときに、代理人を決めている	173	71	71	22	7	2	4.2
11. 本人が参加できないので、家族や代理人と本人の意思を推測している	173	72	71	22	8	0	4.2

比率 (%)

	回答 施設数	5. よく でき ている	4. でき ている	3. 普通	2. あま りでき ていな い	1. でき ていな い	平均点
1. 身体拘束ゼロへの取り組み	173	41.6	41.0	12.7	4.6	0.0	4.2
2. 手荒い介護をしない	173	29.5	52.0	17.3	1.2	0.0	4.1
3. 生理現象を放置・我慢させない	172	18.6	46.5	32.0	2.9	0.0	3.8
4. 子ども扱いしない	172	16.3	54.1	29.1	0.6	0.0	3.9
5. いじわるしない	172	37.8	48.8	13.4	0.0	0.0	4.2
6. プライバシーの保護	173	22.0	49.1	27.2	1.2	0.6	3.9
7. 選挙権の行使	173	36.4	27.2	23.7	4.6	8.1	3.8
8. お金の管理	164	23.8	22.0	31.7	4.3	18.3	3.3
9. 人生の最期の医療・ケアに本人が参加し、本人の意思を確認している (ACP)	171	5.8	12.9	26.3	35.1	19.9	2.5
10. 本人が意思を表出できないときに、代理人を決めている	173	41.0	41.0	12.7	4.0	1.2	4.2
11. 本人が参加できないので、家族や代理人と本人の意思を推測している	173	41.6	41.0	12.7	4.6	0.0	4.2

\* 身体拘束について、2024年4月から6月までの3か月間の実施（n=174施設）

	実施施設数	回答施設に占める 比率（%）	実施施設における 平均実施件数 （100床換算）
身体拘束の実施	112	64.4	11

\* 身体拘束の主な理由（複数回答可）

	施設数	比率（%）
1. 経鼻栄養等チューブトラブル防止	102	91.1
2. 転倒・転落防止	66	58.9
3. その他	17	15.2

9. 2024年5月に請求したリハビリテーションに関する特別診療費の取得状況について（n=174施設）

	算定 施設数	回答施設に 占める 比率（%）	算定施設における 件数（平均） （100床換算）	算定施設における 延べ回数（平均） （100床換算）
1. a. 理学療法	140	80.5	77	577
b. 理学減算	92	52.9	31	226
2. a. 作業療法	89	51.1	66	497
b. 作業減算	64	36.8	25	165
3. a. 言語聴覚療法	73	42.0	46	325
b. 言語聴覚減算	45	25.9	17	134
4. 集団コミュニケーション療法	6	3.4	26	301
5. 摂食機能療法	83	47.7	27	91
6. 短期集中リハビリテーション	73	42.0	19	265
7. 認知症短期集中リハビリテーション	20	11.5	14	108
8. 精神科作業療法	7	4.0	51	235
9. 認知症入所精神療法	2	1.1	22	65

10. 医療行為等の現状・実施について、2024年4月から6月までの3か月間に実施した件数（1）

回答施設数：全体 174 施設（I 型 128 施設、II 型 44 施設、混合型 2 施設）

	上段：実施している施設の比率（％）			
	下段：実施例数の平均（100床換算）			
	全体	I 型	II 型	混合型
1. 他院外来受診数	66.1	65.6	65.9	100.0
	9	8	12	15
2. 他病棟、他病院への緊急入院もしくは救急搬送数	43.7	37.5	59.1	100.0
	6	5	7	10
3. 末期がん患者の受け入れ	29.9	30.5	27.3	50.0
	4	4	5	4
4. 抗生剤末梢点滴治療（肺炎、尿路感染等）	85.6	85.9	84.1	100.0
	22	23	16	30
5. 脱水・熱中症等に対する末梢補液点滴治療	56.3	55.5	59.1	50.0
	19	22	11	74
6. 中心静脈ライン	27.0	32.0	11.4	50.0
	6	6	4	2
7. その他点滴治療	67.8	71.1	59.1	50.0
	37	42	19	4
8. インスリン投与	71.8	74.2	63.6	100.0
	9	10	6	5
9. 褥瘡・創傷治療（デブリ、持続吸引等）	70.7	73.4	61.4	100.0
	13	13	12	3
10. 酸素投与（算定不可）	90.8	91.4	88.6	100.0
	17	18	14	9
11. 気管切開のケア	21.3	21.1	20.5	50.0
	4	4	2	23
12. 経鼻経管、胃ろうによる栄養投与・交換	93.7	95.3	88.6	100.0
	78	93	35	23
13. 歯科治療	70.1	69.5	70.5	100.0
	29	31	23	16
14. 持続モニター	75.9	82.0	56.8	100.0
	13	14	11	12
15. 膀胱カテーテル管理	87.9	88.3	86.4	100.0
	32	37	18	12

10. 医療行為等の現状・実施について、2024年4月から6月までの3か月間に実施した件数（2）

回答施設数：全体 174 施設（I 型 128 施設、II 型 44 施設、混合型 2 施設）

	上段：実施している施設の比率（％）			
	下段：実施例数の平均（100床換算）			
	全体	I 型	II 型	混合型
16. 人工肛門管理	39.7	39.8	38.6	50.0
	3	3	2	2
17. 麻薬による疼痛ケア	8.6	10.2	4.5	0.0
	2	2	3	—
18. 抗がん剤投与（経口、点滴含む）	9.2	8.6	11.4	0.0
	2	2	2	—
19. 新型コロナ治療薬	16.1	15.6	18.2	0.0
	6	5	10	—
20. 単純レントゲン撮影、透視	86.8	89.8	77.3	100.0
	51	55	36	89
21. 超音波検査、内視鏡検査	32.8	35.9	22.7	50.0
	9	9	9	2
22. CT scan MRI	66.7	69.5	56.8	100.0
	29	33	15	17
23. 血液検査	88.5	90.6	81.8	100.0
	87	92	78	12
24. その他	10.3	10.2	9.1	50.0
	18	20	12	10

1 1. 現場で苦勞していることがらについて（複数回答）（n=173 施設）

	施設数	比率（%）
1. 生活施設としての環境整備	71	41.0
2. 自宅としての入所者への対応	49	28.3
3. 抑制ゼロ対策	90	52.0
4. 介護保険書類の煩雑さ	53	30.6
5. 事故届け出の基準、書類の煩雑さ	23	13.3
6. 看護師確保	110	63.6
7. 介護職確保	141	81.5
8. ケアマネジャー確保	38	22.0
9. 医師確保	19	11.0
10. 入所者確保	42	24.3
11. 介護職処遇改善加算に関して	15	8.7
12. 医療行為がやりにくい	17	9.8
13. 急性期への転院希望がある	7	4.0
14. ターミナルの意識	38	22.0
15. 利用者・家族の介護医療院への理解	36	20.8
16. 地域との交流・地域貢献	56	32.4
17. その他	12	6.9

1 2. 令和6年度の介護職員の処遇改善について

(1) 令和6年6月以降の介護職員の処遇改善加算は、下記のうちどれを取得しますか。(予定も含む)  
(n=173 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 介護職員等処遇改善加算 (Ⅰ)	82	47.4
2. 介護職員等処遇改善加算 (Ⅱ)	29	16.8
3. 介護職員等処遇改善加算 (Ⅲ)	18	10.4
4. 介護職員等処遇改善加算 (Ⅳ)	23	13.3
5. 介護職員等処遇改善加算 (Ⅴ) 経過措置区分	11	6.4
6. 加算の取得はなし	10	5.8

(2) 上記 (1) でいずれかの加算の支給を受けている (受ける予定の) 事業所にお伺いします。  
介護施設ではない併設病院病床の看護助手、介護職員に対する処遇改善について、  
該当するものはどれですか。(n=152 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 診療報酬のベースアップ評価料を支給する	65	42.8
2. ベースアップ評価料に病院持ち出し分を追加して支給する	61	40.1
3. 病院は併設されていない	15	9.9
4. その他	11	7.2

1 3. 介護医療院に看護師特定行為研修の修了者は在籍していますか（n=172 施設）

	施設数	比率 (%)
1. 在籍している	9	5.2
2. 在籍していない	156	90.7
3. 以前は在籍していた	0	0.0
4. 今後配置する予定	7	4.1

1 4. 介護医療院の直接の管理者の職種について（複数回答）（n=174 施設）

※届出上の管理者ではなく、勤務表の作成等を行う現場の管理者

	施設数	比率 (%)
1. 医師	38	21.8
2. 特定行為研修を修了した看護師	2	1.1
3. 認定もしくは専門看護師	5	2.9
4. 上記以外の看護師	122	70.1
5. 介護福祉士	22	12.6
6. その他	13	7.5

## 15. 介護職不足について

(1) 介護職は充足していますか。(n=173 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 充足している	21	12.1
2. ギリギリである	81	46.8
3. 不足している	71	41.0

(2) 介護職員・看護職員に外国人を採用していますか。(n=166 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 外国人を採用している	80	48.2
2. 外国人を採用していない	69	41.6
3. 外国人を採用する予定はある・採用を考えている	17	10.2

\* 採用している外国人の看護職・介護職の人数

	人数	比率 (%)	
看護職	6	1.7	5 施設
介護職	356	98.3	75 施設
計	362	100.0	

\* 採用している外国人（看護職）の国籍（複数回答）(n=5 施設)

国籍	施設数	比率 (%)
1. フィリピン	2	40.0
2. ベトナム	0	0.0
3. ミャンマー	0	0.0
4. インドネシア	0	0.0
5. 中国	2	40.0
6. その他	1	20.0

\* 採用している外国人（介護職）の国籍（複数回答）(n=74 施設)

国籍	施設数	比率 (%)
1. フィリピン	23	31.1
2. ベトナム	26	35.1
3. ミャンマー	23	31.1
4. インドネシア	18	24.3
5. 中国	6	8.1
6. その他	12	16.2

\* 採用している外国人の在留資格

在留資格	人数	比率 (%)
1. 特定技能	100	29.1
2. 技能実習	116	33.7
3. EPA 看護師	0	0.0
4. EPA 介護福祉士	10	2.9
5. その他	118	34.3
計	344	100.0

※その他：定住者、永住者、留学生、留学生アルバイト、留学後の介護福祉士、EPA 介護福祉士補助者、  
特定活動、医療ビザ、家族滞在、日本人の配偶者、日本人との結婚による国籍取得

## 16. 総合的な評価

(1) 介護医療院への移行（開設）は収益上よかったですか。（n=173 施設）

（施設数）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	173	127	44	2
1. 移行前より収益が増えた	78	61	17	0
2. 変わらない	52	40	11	1
3. 移行前より収益が減った	29	19	9	1
4. わからない	14	7	7	0

比率（%）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	173	127	44	2
1. 移行前より収益が増えた	45.1	48.0	38.6	0.0
2. 変わらない	30.1	31.5	25.0	50.0
3. 移行前より収益が減った	16.8	15.0	20.5	50.0
4. わからない	8.1	5.5	15.9	0.0

(2) 介護医療院単独での経営状況はいかがでしょう。（n=169 施設）

（施設数）

	全体	I 型	II 型		混合型
				うち、単独	
回答施設数	169	125	42	9	2
1. 介護医療院単独では黒字である	74	56	18	6	0
2. 介護医療院単独では赤字である	29	18	10	2	1
3. どちらともいえない	65	50	14	1	1
4. その他	1	1	0	0	0

比率（%）

	全体	I 型	II 型		混合型
				うち、単独	
回答施設数	169	125	42	9	2
1. 介護医療院単独では黒字である	43.8	44.8	42.9	66.7	0.0
2. 介護医療院単独では赤字である	17.2	14.4	23.8	22.2	50.0
3. どちらともいえない	38.5	40.0	33.3	11.1	50.0
4. その他	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0

(3) 経営状態と平均要介護度、稼働率

全体	黒字	赤字
回答施設数	74	28
入所者数（人）	6,301	1,577
療養床数（床）	6,639	1,798
稼働率（％）	94.9	87.7
平均要介護度	4.25	4.09

I 型	黒字	赤字
回答施設数	56	18
入所者数（人）	5,280	1,091
療養床数（床）	5,549	1,238
稼働率（％）	95.2	88.1
平均要介護度	4.29	4.20

II 型	黒字	赤字
回答施設数	18	10
入所者数（人）	1,021	486
療養床数（床）	1,090	560
稼働率（％）	93.7	86.8
平均要介護度	4.04	3.86

(4) 介護医療院の開設は貴法人にとって総合的によかったですか。(n=172 施設)

(施設数)

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	172	127	43	2
1. よかった	127	97	28	2
2. 変わらない	22	16	6	0
3. 悪かった	2	0	2	0
4. わからない	21	14	7	0

比率 (%)

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	172	127	43	2
1. よかった	73.8	76.4	65.1	100.0
2. 変わらない	12.8	12.6	14.0	0.0
3. 悪かった	1.2	0.0	4.7	0.0
4. わからない	12.2	11.0	16.3	0.0

(5) 上記(4)の回答にかかわらず、介護医療院を開設して「よかった」と思われること

(複数回答)(n=166施設)

(施設数)

	全体	I型	II型	混合型
回答施設数	166	124	40	2
1. 収益が増加した	50	38	12	0
2. 医療区分1の利用者の居場所ができた	70	54	15	1
3. 老健より医療行為がしやすい	40	28	11	1
4. 施設の将来像が見えた	23	19	3	1
5. 住まいとしての環境があるのがよい	43	33	9	1
6. 職員のモチベーションが上がった	7	6	1	0
7. 利用者のプライバシーが確保できた	20	17	3	0
8. 抑制をしないようになった	13	11	2	0
9. 介護療養病床・経過措置が廃止になる心配がなくなった	59	54	5	0
10. 助成金で改修、新築ができた	38	33	5	0
11. 移行支援加算がもらえた	60	52	7	1
12. 地域との交流、地域貢献ができた	12	8	4	0
13. 介護施設にも病院にも入ることができない方々の最後の砦となっている	105	79	24	2

比率(%)

	全体	I型	II型	混合型
回答施設数	166	124	40	2
1. 収益が増加した	30.1	30.6	30.0	0.0
2. 医療区分1の利用者の居場所ができた	42.2	43.5	37.5	50.0
3. 老健より医療行為がしやすい	24.1	22.6	27.5	50.0
4. 施設の将来像が見えた	13.9	15.3	7.5	50.0
5. 住まいとしての環境があるのがよい	25.9	26.6	22.5	50.0
6. 職員のモチベーションが上がった	4.2	4.8	2.5	0.0
7. 利用者のプライバシーが確保できた	12.0	13.7	7.5	0.0
8. 抑制をしないようになった	7.8	8.9	5.0	0.0
9. 介護療養病床・経過措置が廃止になる心配がなくなった	35.5	43.5	12.5	0.0
10. 助成金で改修、新築ができた	22.9	26.6	12.5	0.0
11. 移行支援加算がもらえた	36.1	41.9	17.5	50.0
12. 地域との交流、地域貢献ができた	7.2	6.5	10.0	0.0
13. 介護施設にも病院にも入ることができない方々の最後の砦となっている	63.3	63.7	60.0	100.0